



編集・発行 湘南希望の郷
〒252-0825 藤沢市瀬郷1003
TEL. 0466-48-4500

Index

- 節分 P1
- お餅の話・チャリティーコンサート..... P2
- せせらぎ会だより・希望のバトン..... P3
- 永年勤続表彰・看護師の独り言..... P4



春の代名詞のような「節分」と聞くと、少しばかり気温も温んで来たのかなと思ってみたり、庭先に植えられた蠟梅や緑豊かに芽を出した貝母百合などにゆっくり目を向けて、春探しを始めたくになります。しかし、今年の寒波による豪雪の様子を毎日のようにニュースで見聞きすると、大自然の驚異を改めて気づかされる思いです。ここ湘南の地は比較的温暖な気候で、暖かな日差しの中で「福は内、鬼は外」と元気な声が響き渡ることが実に穏やかで幸せな時間かと感じつつ、みんなの元気に誘われて豆まきに参加しました。

1月29日(水)かわうそ2Fに集合した入居者の皆さんの目の前には赤鬼と青鬼が厳つい顔をして立っています。野太い声で威嚇(?)してくる鬼! 対するもっと元気な入居者さん。手には豆(新聞紙豆)をぎゅっと握りしめて、やっつけるその時の合図を待っています。毎年のことながら、皆さんの日頃のうっぷんを込めに込めての新聞豆が一斉に鬼たちに向けて投げつけられるのですから、いくら強気の鬼でも早々に逃げまくりです。「鬼は外」と執拗に追いかけてながらも、お互い大笑いしながらの追従劇は本当に楽しい一言です。最後は改心した(?)鬼たちと肩を組んで写真を撮ったりして終始笑顔の「節分」でした。

鬼役の職員さん「鬼の衣装を着けると皆さん本気で豆をぶつけてくるので、本気で逃げまくりですよ。だから余計に楽しいんですね。」少々苦労話も混ざったような一言を頂きました。





今年のお正月はいかがお過ごしだったでしょうか。お正月というと、ゆったりと食事をしたり家族と沢山遊んだりと楽しかったいろいろなことが思い出されます。今回は入居者の岡崎さんがコンサートへお出かけしたと、大平さんがお正月での思い出をお話くださいました。



お餅の話



大平 幸枝

私は、女子に大敵なお餅が大好きだ。特に磯部巻きが好物で、あの芳醇な磯の香漂う海の大切な産物と、少し甘みのあるもち米が餅になって、その二つが溶け合って口一杯に広がる、海苔とお餅が奏でる美味しいコラボレーションである。それとこの時期になると、毎年福島の田舎から届け物がある。豆餅だ。豆餅とはシソの葉味で楕円形のあちこちに大豆が埋まってるグレーのお餅のことである。私は一回に4個から5個平らげてしまう。

冬休みも終わり、すっかりまん丸くなった私は、毬のように弾んで学校に登校すると、女友達からグサッと一言。「ユキちゃん太った？」
この時ばかりはお餅を憎らしく思い、自分勝手に「もう食べるもんか！」と思うところもあるけど、それでもやっぱりお餅は日本の心を持つ伝統的な食べ物だと思う。



チャリティーコンサートに行ってきました

1月24日(金)光友会チャリティーコンサートが開催され、希望の郷からは岡崎さんが観賞されました。夕方の開演に合わせて早めに出発して、市民会館で夕飯のお弁当をいただきました。前もって栄養士さんから「お弁当のおかずは、何にしましょうか？」と聞かれた岡崎さんは、迷わず「からあげ！卵焼き！」と瞬時に答えたそうです。大好物が詰まった特製弁当持参で、ステージ観賞と共に楽しみが増えました。

今年のステージは、Hot Generation によるミュージカルでした。初めてのミュージカルがどのようなものか興味津々での観賞でしたが、1本目の話は、東ティモールの人々と日本のNGOの関わりが描かれていて、「途中、怖くてぞっとしたところもあったけど、楽しかったー！おもしろかった！来て良かった！」と感激したことを、大きな笑顔で興奮気味に話してくれました。

来年は、もっと多くの方をお連れして、夜の外出を楽しんでいただきたいです。



せせらぎ会だより

紅梅や病臥に果つる二十代(古賀まり子)

早春の冷気をまとう庭先に凜と咲く一輪の紅梅。それはイソップ童話のように、なごりを惜しむ北風と早春の柔らかな日差しが攻めぎ合う小さなドラマ。主役の梅は、春を告げる使者として三寒四温の風の中、凛々しい笑みを湛えている。まさに、冬から春へ一幅の名画の様な情景である……。古来、梅の木は文人・画人に好まれた題材であり、詩歌と共に数多くの絵画も、貴重な美の伝道師として、国境や時代を超

えて親しまれてきました……。

「東風吹かば匂いおこせよ梅の花 主なしとて春をわするな」。平安時代、この和歌を詠んだのが、かの菅原道真である。わけあって、左遷を命じられた道真が、都から九州の大宰府へ向かう、不遇の道程で立ち寄った自宅で、百花に先駆け、春のおとずれを告げる梅の木の古事に託して辞世の句を詠んだとされている。この一首に込められた歴史の秘話が、やがて千年の時空(とき)を超えて、学問の神様として祀られ多くの人々に親しまれているのが、太宰府天満宮である。そんな史実とはほど遠い私たちの「ふくし村」にも、たしかに希望の春は巡り来るのです。

「早くこいてい春よ来い、こころの庭に春よ来い」

文責・自治会 (K.I)



希望のバトン

生活担当 柳川 裕樹

日野職員よりバトンを引き継いだ柳川です。早いもので光友会に就職して10年がたちました。それまではぶらぶらして日々を過ごしていたのでまさかこんなに続くとは想像していませんでした。そんな自分を褒めてあげたいのですが、周りの方に助けられてばかりなので感謝の気持ちを忘れずに職務を続けていこうとおもいます。

10年目ということでリフレッシュ休暇をいただいたので普段と違うことをしてみたいと思い、一人で小旅行に行ってみようと北陸は金沢に行ってみました。普段遊びに行くなら遠くといっても東京の競馬場くらいなので新幹線・ホテルのチケット予約は一苦労でした。能登半島の影響も多少なりとも残っているかと思いましたが駅前や観光地は賑わっていて、とくに外国の方が多い印象でした。一人きりでさびかったので喫煙所で話しかけるとだいたい外国の言葉で返答され慌ててその場を後にしました。

休日に近場や家でのごんびり過ごすのが好きで旅行の楽しみ方がわからなかったのですが、たまの遠出も新鮮な気分になり楽しかったです。次回は飛行機に挑戦してみようかとおもいます。

次回は入職当初からの憧れである丹野先輩にバトンを引き継ぎます。

日本水仙

この寒さの中、日本水仙が咲いています。淡いクリーム色で甘い香りが殺風景な冬景色の中ではとても魅力的に映って、春の訪れと一緒に待ちわびるような愛おしさも感じます。とは言うものの、希望の郷は居心地がいいのか増えて、増えて。越前岬のように名勝地にでもなりそうな勢いです。



☕ 山本智治さんのマイブーム ☕

私は歌うことと陶芸が大好きな山本智治です。希望の郷での生活ではカラオケの会で歌えて、陶芸教室で陶芸もできて毎日がとても楽しいです。マイブームは1階の自販機でコーヒーを買って飲むことです。これからの目標はごはんを毎日完食すること！みんなよろしくね。



◆ 3・4月の予定 ◆



健康課より

3月の予定

藤沢病院 石井 Dr.	6日(木)
厚誠会歯科検診	4日(火) 11日(火)
	18日(火) 25日(火)
御所見病院 手島 Dr.	12日(水) 26日(水)

4月の予定

藤沢病院 石井 Dr.	3日(木)
厚誠会歯科検診	1日(火) 8日(火)
	15日(火) 22日(火)
御所見病院 手島 Dr.	9日(水) 23日(水)



看護師の 独り言

ナースキャップ

看護師さんといえ
ば白衣のイメージ通
り、清潔感と優しい

声掛けから「白衣の天使」という言葉が浮かんで
きますが、時代も変わって現在ではユニフォーム
は形も色も様変わりしています。そして、今では
すっかり見なくなってしまったものですが、ナース
キャップなるものを着けていた時代がありました。
19世紀ヨーロッパの病院は教会に属しており、
そのシスター達が着用していた帽子が発端で
す。けっして実用とは言えず、象徴の意味が大き
かったものです。

今では戴帽式のセレモニーで、ナイチンゲール
よりの看護の灯をいただく以外の場で身に着ける
ことはなくなりました。

ファッションの時代が変わったからではなく、
ナースキャップは形を作るためにのり付けされて
いますが、こののりに細菌が発生することがわか
り、感染予防の点から廃止になっていったのです。

ナースキャップはヘアピンで止めてあるの
ですが、病室のカーテンなどに引っ掛かり痛い思
いをしたことも思い出されます。

永年勤続表彰

1月新春の集いの席において職員永年勤続
表彰が行われました。

湘南希望の郷からは、30年勤続 丸山和良さん
10年勤続 柳川裕樹さん
日野隼人さん 山崎千夏さん
が表彰されました。



先日我が家に宅配便で大きな荷物が届いた。宛名は息子で、
品名は座椅子。赴任先からネットで注文し実家である我が家
に送ってきたらしい。息子が帰省した時に荷物が届いているこ
とを伝えると大きな段ボールを開け「これあげる」と。息子からもらった立派な座椅子の説明書き
には「腰痛予防座椅子」と書かれていた。何倍もあったかい気持ちになって、また一つ宝物が増え
ました。

T・Y